

平成 17 年度「教育研究支援プロジェクト経費」成果報告書

プロジェクトチームの代表者 部・講座等名 芸術系(音楽)教育

氏 名 村澤 由利子

プロジェクトの名称	教員採用試験における弾き歌いや、音楽科の授業においてピアノ伴奏の際に必要なとされる読譜力や音楽性を養うための教材の開発 -小学校教員養成のためのピアノ教則本(初級)第2巻-	配分 予算額	446,000 円
プロジェクトの概要	<p>本学は、学校教育に関する実践的・理論的な研究を行う「教育のための大学」であり、教育現場における課題解決や、各教科の教材を含む実践的な研究を行う使命を持っている。</p> <p>平成14年度教育研究基盤校費「音楽科の授業において、ピアノ伴奏に際して必要とされる読譜力を養成する方法及び教材の研究」の成果を発展させ、平成16年度のプロジェクト経費により「小学校教員養成のためのピアノ教則本(初級)」を印刷し、完成することができた。</p> <p>この教則本は教員採用試験と密接な関係がある「初等音楽Ⅰ・Ⅱ」の授業に使用できるのみならず、種々のピアノの授業でも、大学院生を含む初歩のピアノ奏者のために使用できるように考慮した。</p> <p>平成17年度は、プロジェクト経費により「小学校教員養成のためのピアノ教則本(初級)第2巻」(村澤由利子・森正、全44ページ)を200部印刷した。内容は、前巻よりさらに進んだものとなっており、本学の学生、大学院生のみならず、小学校教員を目指す人達のためにも活用できるように考慮した。</p> <p>この第2巻の教則本も初歩のピアノ奏者のために、ピアノを弾く際の姿勢、鍵盤への手の置き方、音符、記号、和音や黒鍵を使う弾き方の注意などの説明を取り入れた。次に読譜力を身につけるために、重音、和音のブラインドタッチの練習をはじめ、全音楽譜出版社、音楽之友社等の楽譜を参考に、前巻より進んだピアノ練習曲やピアノ伴奏教材を選んだ。</p> <p>今回もピアノの授業等の教材として、無料で学生に配付し使用することとし、また小学校教員を目指す人達にも希望があれば配付する。</p>		
成果の概要	<p>「小学校教員養成のためのピアノ教則本(初級)第2巻」(村澤由利子・森正、全44ページ)</p> <p>内容</p> <p>Ⅰ. ピアノの基礎練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ピアノを弾く際の姿勢や椅子へのすわり方、鍵盤への手の置き方など ・ 音符やシャープ、フラット等の記号 ・ 和音を弾く上での手の形と弾き方 ・ 黒鍵を使用する音階の弾き方 <p>Ⅱ. ブラインドタッチの練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2、3度の重音の練習 ・ 組み合わせられた重音の練習 ・ 3和音の練習 ・ 和音の連結の練習 <p>Ⅲ. 初等のピアノ練習曲</p> <p>『バイエルピアノ教則本』の後半部分、シューマン『子どものためのアルバム』、ブルグミュラー『25の練習曲』より表現力豊かな曲を選び、音楽性をマスターすることを目的とする。</p> <p>Ⅳ. ピアノ伴奏教材</p> <p>「ひきうたい」の練習のために【新版】「初等音楽教育法(小学校教員養成課程)」より伴奏の難しいと思われる5曲と、伴奏付けのために童謡2曲を選び、指使いの練習方法なども考慮している。</p> <p>以上のように平成16年度作成の「ピアノ教則本(初級)」同様に、この第2巻も「初等音楽Ⅰ・Ⅱ」をはじめとする、様々な授業で使用することにより、小学校教員を目指す学生達にとって「ひきうたい」や「ピアノ伴奏」の方法について学ぶことが出来る。また自学自習の際にも使用することが可能なように解説を含め、進度に無理なく応じるなどの配慮がなされている。</p>		

(注) 1. 箇条書き等により簡明に記入すること。

2. 概要については、800字程度にまとめること